

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様には学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組みます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思っております。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は佐賀県学力学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となっています。

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5年時	6年時	5年時	6年時
H30 入学 現 6年生	県	全国	県	全国
	(12月)	(4月)	(12月)	(4月)
	72.4	76.0	69.7	67.0
	(1.11)	(1.12)	(1.39)	(1.10)
R5 正答率の全国比		1.13		1.07

◎ 5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎ 「令和5年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

- ・国語では、ほぼどの領域でも県平均・全国平均と同等か上回る結果であったが、記述問題で県や全国と比べて下回っている問題もあった。
- ・算数においては、全ての領域で県・全国の平均と同等か上回る良い結果が出ていた。
- ・若干、学力に個人差があり、特に算数では2極化の傾向が見られる。
- ・意識調査から、将来の夢や目標を持っていない児童が県や全国と比べて多いことがわかった。また、国語の学習に対して積極的に取り組めていない児童の割合も多い。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- ・国語の授業づくりを見直し、児童が意欲的に取り組めるように工夫する。
- ・記述式の問題や思考を要する問題に対して、自分の考えをしっかりとち、発表したり書いたりすることができるような習慣づけを行っていく。
- ・個別指導が必要な児童については、今後も配慮をしながら指導を行っていく。
- ・「志を高める授業」には講師を招き、児童が夢や目標をもち、学ぶ意欲が高まるような手立てをとる。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・将来についての夢や目標を持たせる指導を工夫し、学習に対して意欲的に取り組んだり、粘り強く取り組んだりする姿勢へとつなげていく。